

SONY

HONDA

2026年3月25日

ソニーグループ株式会社
本田技研工業株式会社

ソニー・ホンダモビリティの事業方針の見直しについて

ソニーグループ株式会社（以下「ソニー」）と本田技研工業株式会社（以下「Honda」）の合弁会社（JV）であるソニー・ホンダモビリティ株式会社（以下「SHM」）は、2022年9月の会社設立以来、ソニーとHondaの両社の技術や知見、開発力を融合し、高付加価値モビリティの開発・販売およびモビリティ向けサービスの提供を目指して取り組みを進めてきました。

しかしながら、Hondaが、EVを取り巻く市場環境の変化を受けて2026年3月12日に発表した四輪電動化戦略の見直しに伴い、Hondaからの提供を想定していた技術やアセットの活用など、SHMの事業展開に係る重要な前提条件に大きな変化があったため、本日、SHMとして第1弾モデル「AFEELA 1」および第2弾モデルの開発と発売中止を発表いたしました。併せて、ソニーとHonda、SHMの3社でSHMの事業方針の見直しを行うこととしました。

SHMの今後については、EVを取り巻く最新の市場環境を踏まえ、今一度、JVの設立主旨に立ち返り、中長期的なSHMのあり方、モビリティの進化への貢献の可能性、事業の方向性について3社で協議・検討を行い、明確化した上で、なるべく早いタイミングで公表いたします。